

2 目標達成計画

作成日: 平成23年5月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地震、災害時における水、食料品の備蓄の件が指摘される。	今回の大震災で、水、食料品の備蓄が必要不可欠と実感する。 早期に飲料水、食料品の備蓄を確保する。	・職員全員に備蓄の大切さを認識してもらう。 ・賞味期限、保管場所には十分配慮する。	か月
2		基本理念について、地域の方々との繋がりを重視することの大切さを再認識する。	地域との繋がり、住民参画の福祉ネットワークの重要性を職員全員が理解できるようにする。	・グループホーム利用者にかかわらず、当施設利用者において、地域住民の一員として目標に掲げる。	か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。